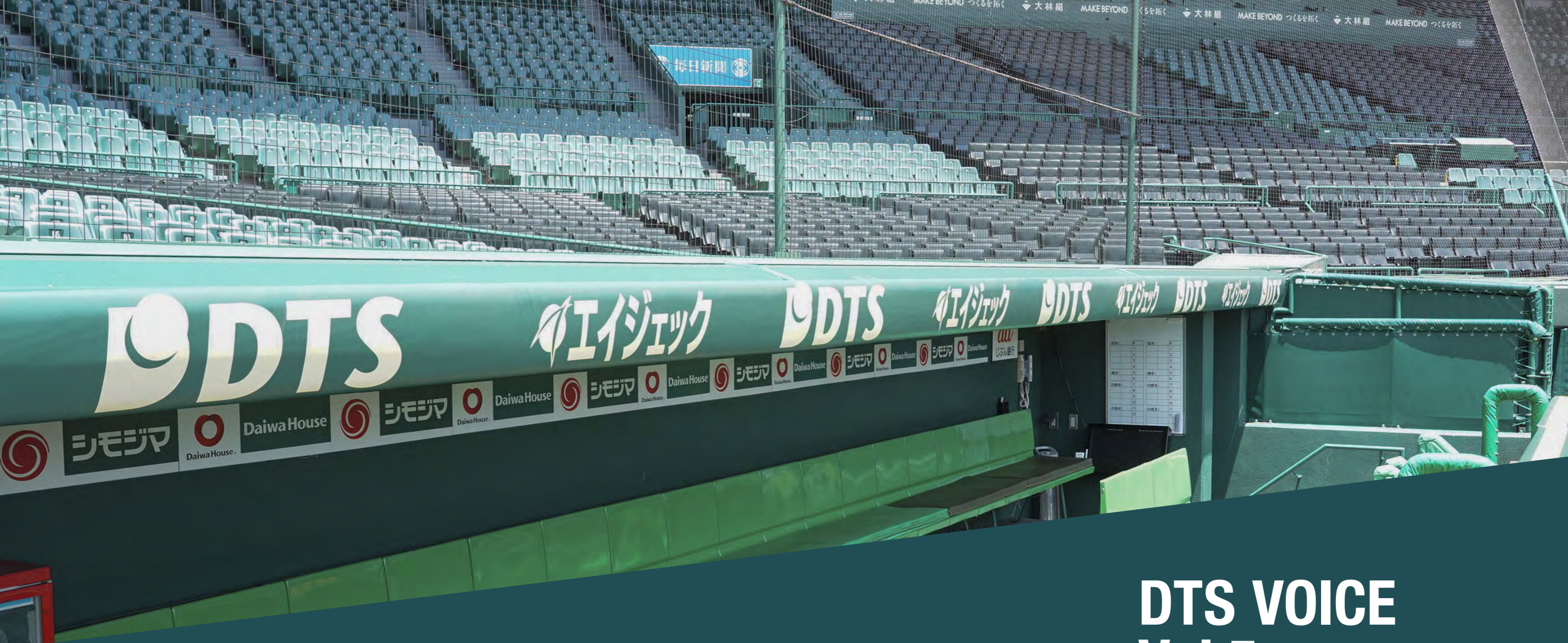


# DTS VOICE

Vol.5  
2026 / May

DTS PUBLIC RELATIONS MAGAZINE





# DTS VOICE Vol.5

## 阪神甲子園球場、 社名広告への想い。

DTSは、2024年に開場100周年を迎えた阪神甲子園球場に社名広告を出しました。

日本最古の本格的な野球場という伝統を礎に次の未来を目指していく甲子園の姿は、創立50年を超えたDTSの「チャレンジし続け、常に変化を楽しむ」経営方針とも融合する価値観であると考えています。

DTSでは創業時から野球チームが活躍しており、野球の聖地からDTSの存在を日本全国へ発信することにワクワクしています。社名広告をきっかけに、DTSのトータルシステムインテグレーター (Total Sler) としての実績と実力を皆さまに知って頂けるようDTSグループ社員一同、邁進してまいります。

### Contents

- 04 システム導入事例のご紹介 / DTSのソリューション
- 08 特集1 DTSのエヴァンジェリスト
- 14 特集2 合同練習  
**「阪神タイガースWomen × DTS野球部」**
- 17 DTS野球部トピックス
- 18 特集3 甲子園歴史館訪問
- 20 DTS野球部選手紹介
- 22 DTS野球部2025試合日程 / 野球部メッセージ

## システム導入事例のご紹介

インタビュー詳細はこちらから



# 株式会社はとバス様

走りながら形にした信頼

—— 脱レガシーとGo To対応が導いた“変化に強い基幹システム”の舞台裏



千田 友也 様 (写真右)  
株式会社はとバス  
経営本部 経営戦略部 情報システム課 課長

稲田 浩司 (写真左)  
株式会社DTS  
法人ソリューション事業本部  
インダストリーソリューション事業部・第三担当課長

—— まず、今回の基幹システム刷新を決断された背景から教えてください

千田様：長年、AS/400で予約システムを運用してきました。安定はしていましたが、消費税率変更などの法改正対応や、新しいサービスをすばやく形にするという点では、正直限界を感じていました。

さらに2010年代に入ると、AS/400を扱えるエンジニアが急速に減っていき、「この人がいなくなったらどうするんだろう」という、事業継続そのものへの不安も現実味を帯びてきました。

—— 単なる老朽化ではなく、「経営リスク」だったわけですね

千田様：まさにそうです。インバウンド需要の高まりや、東京オリンピックを見据えた新しい観光コースを企画したくても、多言語対応や外部サービス連携が難しく、システムが足かせになっていました。そこで「延命ではなく、オープンで柔軟なクラウド基盤に刷新しよう」と、経営判断として舵を切りました。

「今回の刷新は  
業務そのものを  
見直すプロジェクト」

—— パートナー選定で、DTSを選ばれた決め手は何だったのでしょうか

千田様：今回の刷新は、単なるシステム更新ではなく、「業務そのものを見直すプロジェクト」でした。

ですから重視したのは、開発力だけではありません。

- ・業務を深く理解していること
- ・法改正や需要変化に柔軟に対応できる構成を描けること
- ・属人化から脱却し、継続的に改善できること

この3点です。

稲田：私たちは、過去の予約管理基盤再構築やWeb改修の支援を通じて、はとバスさんの業務や運用の癖、課題をかなり把握していました。その上で、「脱レガシーを実現するアプリケーション再構築」「将来拡張を見越したAzure基盤」「導入後も現場を知る人間が支える体制」をセットで提案しました。

—— 実際の刷新プロジェクトは、かなり大規模だったのでは？

千田様：30年以上使ってきた基幹システムですから、簡単ではありませんでした。基幹予約システムからWeb予約、インフラ全体をAzureへ移行する大きなプロジェクトです。経営層・現場・情報システム部門が参加する「ステアリングコミッティ」を設け、少数精鋭で、毎日のように議論と検証を重ねました。

稲田：「全員が同じ目的を持たなければ、この規模の刷新は成功しない」という点は、最初に強くお伝えしました。



—— そして稼働後、コロナ禍とGo Toトラベル対応が訪れます

千田様：正直、まったく想定していませんでした(笑)。制度要件が次々と変わり、そのたびにシステム改修が必要になる。もしAS/400のままだったら、「システムが対応できないので、業務を止める」という選択肢しかなかったと思います。

稲田：クラウド基盤だったからこそ、運用を止めずに、短期間で改修と反映ができました。Go Toトラベルは、割引計算、申請データ作成、運用フローまで含めて“Go To専用の仕組み”を走りながら作る必要がありましたね。

「全員が同じ目的を  
持たなければ  
刷新は成功しない」



## 顧客体験そのものが変わった と感じています

— まさに「変化に即応する力」が試された場面ですね

千田様：はい。制度変更があるたびに「また変わった」と（笑）。それでもDTSさんが常駐で一緒に考えてくれたことで、現場は何とか踏みとどまれました。結果として、「クラウド移行していなければ事業継続は難しかった」と感じています。

— その後、ビジネス面でも大きな変化が出ていますね

千田様：Web予約が電話予約を逆転し、今では「電話3：Web7」。会員数も約2万人から約18万人へと9倍に増えました。スマートフォン対応、リアルタイム空席表示、メルマガやバスデークーポンなど、顧客体験そのものが変わったと感じています。



— 最後に、今後の展望を教えてください

千田様：今後は予約システムに限らず、他の業務領域でもクラウド化を進めていきます。

データやAIを活用し、「勘」ではなく「事実」に基づいて観光体験を設計できる会社になりたい。

稲田：私たちは、これからも「変化に強い基盤」と「現場理解」を両立させるパートナーであり続けます。



株式会社はとバス

「おもてなしの心」で日本の魅力を世界に発信！東京観光のリーディングカンパニー

戦後まもない昭和23年（1948年）8月、「観光事業を通じて多くの日本人々に夢を、外国人々には平和な日本の真の姿を紹介したい」という理念のもとに創業。以来70余年、「おもてなしの心」を第一に、東京観光の代名詞ともいえる観光バス事業を中心に、ホテル、不動産、都営バスの運行受託に加え、レストランクルーズなど、はとバスグループとして幅広い事業を展開しています。東京観光のリーディングカンパニーとして、東京の魅力を、さらには日本の魅力を世界に発信することで、日本全体の観光に貢献する企業を目指しています。

お客様のビジネスをDXで強くするトータルSlerのDTS

## 今おススメのDTSソリューション

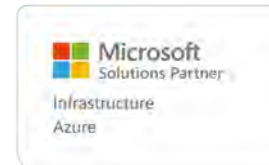
クラウド基盤ソリューション

### Microsoft365 & Azure 環境構築サービス

AzureやMicrosoft365のシステム導入～運用をサポート  
アプリケーション/データベース移行も支援

Microsoftソリューションパートナー認定取得の専門組織が、AzureやMicrosoft365をはじめ関連製品をトータルサポート。運用性やセキュリティを考慮した設計、監視やログ保管にも対応し、基盤からアプリケーション・ミドルウェアまで一貫してご提供します。企業や官公庁での豊富な導入実績をもとに、サービス導入や社内システム移管、ハイブリッド環境やオフィス環境まで幅広く対応。お客様のご要件に合わせた、最適なクラウド基盤を実現いたします。

お問い合わせ：デジタルソリューション事業本部



Microsoft365 & Azure  
環境構築サービス

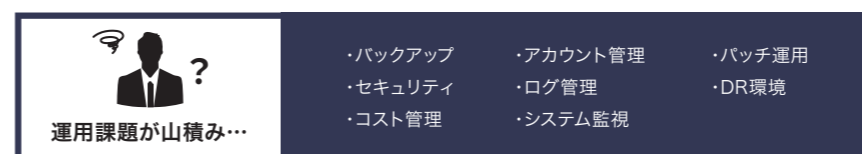


クラウド基盤ソリューション

### Microsoft365 & Azure 運用管理サービス

AzureやMicrosoft365運用もお任せ！導入～運用保守をフルアウトソース  
Microsoftサービスの請求代行にも対応

Microsoft365 & Azure 運用管理サービスとは、システム運用担当者がいない、AzureやMicrosoft365の特性を踏まえた運用がわからない、利用料をまとめて請求代行してほしいといった課題に応えるサービスです。システム監視やクラウド運用など運用要件に合わせた最適な運用をご提案。Azure請求代行による請求書ベースの円払いにも対応し、バックアップや監視、ログ保管、アラート・パッチ・災対運用まで幅広くサポートします。



運用の「見える化」、優先課題の抽出、あるべき姿の検討



お問い合わせ：デジタルソリューション事業本部



Microsoft365 & Azure  
運用管理サービス



# 二人の専門家が語る “CSIRT”の今とこれから

昨今、企業へのサイバー攻撃が増加する中で、組織のサイバーインシデント対応を担う“CSIRT”(シーサート:Computer Security Incident Response Team)の存在に脚光が集まっています。皆さんはCSIRTってどんな組織かご存じですか?今回はCSIRTのエキスパートとして活躍する二人にお話を伺いました。

## CSIRTで繋がり20年の二人

— まず、お二人の業界での歩みを教えてください。

**杉浦** 私がCSIRTに関わり始めたのは1998年です。それまではプログラマーとして働いていましたが、限界を感じて、別のことをやりたいなと思っていたところ、たまたま知り合いの方にお声がけいただき、1998年12月からJPCERTコーディネーションセンター(JPCERT/CC)に参加することになりました。それ以来27年ほど、ずっとCSIRTのことをやってきました。

**小川** 私は2000年にDTSに入社しています。最初の7年間はシステムの運用監視というセキュリティとは全く離れた業務をやっていました。2007年に部署異動があり、そのときに杉浦さんがチームマネージャーをされていたNTT-CERT(NTTグループ全体のCSIRT)に配属され、7年ほど一緒に仕事をさせていただきました。そのあと、杉浦さんはほかのチームに移られたのですが、私はNTT-CERTに残っていて、その間もたまにお会いして食事を一緒にしたり、会合でお話しさせていただいたり。杉浦さんとの交流はもう20年ぐらいになるんですね。

## メインミッションは“火消し”

— 最近よく耳にする“CSIRT”ですが、どんな役割の組織ですか。どのような体制なのでしょう。

**小川** よく消防署にたとえられるんですが、火事が起きた時の対応組織ですね。サイバー攻撃を受けたあと、どう対応するかが一番のミッションです。もちろん、セキュリティの事故が起きる前に情報収集をして啓発活動をやったりとか、脆弱性が公開されたらセキュリティホールを対応するとかもあるんですが、メインは“火消し”です。サイバー攻撃を受けたら、原因はどこで、何を止めなくてはいけなくて、どういう情報が漏洩して、どういう広報を出さないといけないか、どういう体制で社内の

誰を集めないといけないか。そうした対応を統率する組織がCSIRTですね。CSIRTの体制はいろいろあります。たとえばNTT-CERTは、NTTグループ400社を束ねるセキュリティの専門部隊なんです。そこが理想ですが、すごく難しい。多くの企業では、情報システム部門内に設置したり、中小企業では“一人”CSIRTの方もいらっしゃるんですね。よくあるのは横断的なCSIRTです。情報システム部門、総務部門、あとはセキュリティに詳しい担当で体制を作っておいて、インシデント発生時には全員が集まる仕組みを作っておく形です。ただ、こうでなきゃいけないという形はないです。

— CSIRTを置くメリットって何ですか。平時から活動しているのでしょうか。

**小川** メリットとしては、サイバー攻撃の被害を受けたときの対応ができるようになる場所なんですね。変な言い方ですけど、事故が起きる確率ってすごく低いんです。それに対して、自分の会社がサイバー攻撃を受けたときの被害を、ゼロにはできないですが、最小限まで軽減できます。

緊急のサイバー攻撃が起きたとき、社内からCSIRTに「ランサムウェアの被害を受けました」とは絶対に申告されず、「パソコンがおかしい」「ファイル名が変わる」といったキーワードの問い合わせを受けます。そんなとき、日頃から攻撃の流行や被害などの情報を収集してインシデント発生時に備えていないと対応できません。たとえば、ベンダーが共有する脆弱性情報や、一般社団法人日本シーサート協議会(以降NCA)などのコミュニティで共有される脅威情報など、常に最新情報をキャッチしておくというのが、平時の重要なミッションになります。また、NCAが提供するトレーニングやワークショップなどに参加することで、インシデント発生時の際にしなければいけないことの知見は貯められます。

## コミュニティの繋がりの大切さ

— そもそもCSIRTってどのようにして生まれたのでしょうか。現在までの歩みを教えてください。

**杉浦** CSIRTが生まれたきっかけと言われている事件は1988年11月にありました。まだインターネットがアメリカ中心で、学術系、政府機関、軍関係の組織にしか入っていない時代ですね。「モリスワーム」といって、インターネット上でどんどん伝搬していき、6000台のサーバーがダウンさせられたといいます。研究機関などにあるサーバーがかなりやられたようです。モリスワームはインターネットの規模を計測する意図で作られたソフトウェアで、悪意はなかったんですね。システムやプロトコルの脆弱性を使って伝搬したらサーバーが落ちてしまった。そんな事件でした。

この事件をきっかけとして、1988年11月に世界初のCSIRTであるCERT/CCが立ち上がり、同時に米国空軍などにもCSIRTが徐々に立ち上がっていったと聞いています。その後、1989年にWANKワーム事件が起きて、組織間の連携の必要性が明らかになると、翌1990年にFIRST(Forum of Incident Response and Security Teams)という世界的なCSIRT・セキュリティチームのコミュニティが生まれました。FIRSTには今も世界各国から800以上のチームが参加しており、協力関係の構築を目的に活動しています。



一般社団法人 日本シーサート協議会 副理事長  
株式会社 NTT データ先端技術

セキュリティ&テクノロジーコンサルティング事業本部  
CSIRT ディスティラー

## 杉浦 芳樹氏

NTT-CERT メンバ /IL-CSIRT メンバ / 日本シーサート協議会 副理事長。  
1998 年より JPCERT/CC のメンバーとして CSIRT の活動に関わる。以来、CSIRT 構築 / 運用を中心に活動し、NTT グループ CSIRT である NTT-CERT の構築、日本シーサート協議会の設立を実施。  
現在も NTT-CERT のメンバー、CSIRT 関係の各種教育・講演を行うとともに、日本シーサート協議会(NCA)副理事長として業界連携にも貢献している。また、セキュリティインシデント管理成熟度モデル「SIM3」の監査トレーナー資格を日本人で初めて取得。

株式会社DTS

デジタルソリューション事業本部 デジタルビジネス事業部  
セキュリティ第二担当 担当課長

## 小川 真太郎

2000 年に株式会社DTSへ入社し、情報セキュリティ分野を中心にキャリアを重ねてきた。2007 年からは NTT-CERT のメンバーとして、インシデントレスポンスや脅威情報分析など CSIRT 活動に従事。2021 年にはゼロトラスト製品を用いたシステム開発を担当し、実装・運用の両面からセキュリティ強化に取り組んでいる。情報処理安全確保支援士および CompTIA Cybersecurity Analyst(CySA+)の資格を有し、金融IT協会(FITA)セキュリティ民主化WGのメンバーとして活動するとともに、「デジタルメッセ奈良」、「ITmedia Security Week」、「金融デジタル戦略会議」、「情報セキュリティマネジメントフォーラム」などで講演を行っている。

“CSIRTに出来ることは、事故が起こらないための啓発活動、そして被害を最小限にすることです”



杉浦 私がJPCERT/CCに加わった1998年当時のことを思うと、CSIRTにとっての問題は今もあまり変わっていないという気がします。その当時から、いわゆるアンダーグラウンドはありまして、ボットネットもありました。攻撃する側の悪い人たちの行為はシステム侵入が基本なので、目的が違っていても連携します。その辺りが守る側の厳しさだとすごく感じました。1998年当時、企業側はとにかく仕事をすることで一杯で、サイバーセキュリティには全然興味がありませんでしたので、そこは今では変わってきたと思います。しかし、CSIRTの基本にあるものは今も変わっていないと思います。

— NCAについて教えてください。どんな役割を果たしているのでしょうか。

杉浦 NCAは2007年に設立されました。当初6チームで始めたんですね。当時は、CSIRTを立ち上げる企業が徐々に増えてきていて、例えば、私が所属していたNTT-CERTも2004年に設置されてFIRSTに参加していました。そうしたチームの中から、「そろそろ日本にコミュニティがあってもいいんじゃない？」という声が上がって出来たのがNCAになります。どんな活動をしているのかというと、一番意識しているのは、同業・異業種の垣根を超えたCSIRT同士の連携や、学習の場としての役割ですね。

2009年に「ガンブラー」というウイルスの問題が発生したときのことは印象深く覚えています。NCAの会議に出る前にコーヒーを飲んで休んでいたところ、国内のコミュニティの仲間から突然「今送ったから」とチャットが来て、自分が関わる会社のインシデント情報を送ってきたのです。それで慌てて小川さんに連絡したりして。何が印象的だったかというと、CSIRTのコミュニティがあったからこそ出来たことで、知り合い同様の情報をもって、それをちゃんと伝えることができた事例として印象に残っています。

### 変わらない役割と責任、経験からの学び

— コロナ禍以降、企業のDXが特に進んだと思います。企業のサイバー活動がますます重要になる中で、CSIRTの役割は変わってきていますか。

小川 20年前からCSIRTに携わらせていただいて、当時はCSIRTと言っても「何それ？」というのがすごく多かったのですが、今ではニュースでCSIRTという言葉が出てきて、すごい時代になったなと思います。ただ、浸透してきたがゆえに、その名前が独り歩きしているのかなと思うんですね。セキュリティ事故が起きたらCSIRTと言えば大丈夫、みたいな。実際はCSIRTがいてもダメなときはダメ。消防署があっても火事は起きるので、火事をゼロにすることはできない。CSIRTに出来ることは、事故が起こらないための啓発活動、そして被害を最小限にすることです。ゼロにするのではなく、少なくともというがミッションです。私は今もそう理解しているのですが、世の中は「CSIRTがいればサイバー攻撃は防げる」という感覚になっているかも、と思ったりします。でも「そこは違うよ！」とちょっと言いたいです(笑)。

— リモートやモバイル環境がどんどん広がっていきなから、CSIRTが担う責任も重くなっていますか。

小川 そうですね。CSIRTとしては責任も特に変わりはないんですが、企業のインターネットの入口がたくさん出来ているので、脅威にさらされるリスクは増えているのではないかと思います。私は5年前からゼロトラストセキュリティのシステム開発に携わらせていただいているのですが、安全である一方、入口さえあればどこからでも会社に繋がります。カフェのWi-Fiを

使って仕事ができるようになって、ショルダーハッキングであったり、物理的なリスクとしては大きくなっているかなと思います。でも、そこはルールで縛るしかない。基本的に社員の行動の規定まではCSIRTのミッションではなく、どちらかと言えば会社のガバナンスですね。

— 昨年、DTSグループでサイバーインシデントが発生したとのことですが、振り返ってお話いただけるエピソードがありましたら教えてください。

小川 弊社のグループ会社がサイバー攻撃を受けまして、私のほうで約1カ月間、その支援に行きました。セキュリティの専門用語を使わずにエンドユーザーや経営層に説明することは非常に苦労しました。たとえば、サイバーセキュリティの事後対応として「フォレンジック調査」がありますが、そのままでは意味が伝わらず、言葉選びが難しかったです。インシデント対応のステップや調査項目についてはそんなに悩まなかったのですが、サイバー攻撃への対応を「見える化」することは非常に苦労しました。

かつて、NTT-CERTで杉浦さんと仕事をさせていただいたときは、セキュリティの専門家として技術支援をする一歩後ろの立場だったのですが、今回は最前線で、火の起きている中で緊急対応しなければいけないという初めての経験でした。やっぱり知識だけではどうしようもないところが多いと感じました。非常に良い経験でした。



### 「CSIRT不要論」の理想と現実

— CSIRTの理想のかたちや活動、あり方というのは果してあるのでしょうか。

杉浦 極論かもしれないけれど、私は、CSIRTは無いほうが良いと思うんです。たしかに、いろんな企業が兼務でやっていますが、お金の面でも人の面でも、なかなかそこにリソースを割くというのは難しい状況だと思うんですね。本来どうあるべきかを考えると、一人一人がインシデント対応できるようになり、部門ができるようになり、会社全体のリスクマネジメントの一環としてサイバーセキュリティを扱うというのが、本来は理想的なんじゃないかと思っています。なかなか理想論でうまくいかないですが、自分が理想としているのはそれです。CSIRTは、そこに到達するための第一歩と捉えています。

— リスクマネジメントや事業継続計画(BCP)の中にCSIRTを位置づけるような動きはあるのでしょうか。

小川 サイバーは昨今のいろんな企業にとって事業継続性へのインパクトが大きいので、一つの要素として捉えていかなければいけないという流れになってきています。

その流れで思い出すのは、やはり2011年の東日本大震災ですね。当時、私は杉浦さんとともにNTT-CERTにいましたが、NTT-CERTは前年かその前年に災害対策組織の一部として組み込まれていましたので、発災後はインターネット上の監視を強化するために災害対策のチームとして、半年近く24/365体制で業務にあたりました。自然災害が起きるとインフラ系が止まったり、人手が足りなくなったり、あのときは計画停電もありました。そういう時はセキュリティの制限が緩くなるもので、そこにサイバー攻撃が起きます。

“CSIRTの基本にあるものは今も変わっていないと思います”

— CSIRTをさらに普及させ、良くしていくため、どのような課題があるでしょうか。

小川 CSIRTって、やっぱりコストに見られがちなんですよね。でも、私の中では本当に、広報や総務や人事と同じように必要な組織なので、要る／要らないの議論の土俵にのるべきではない、あるべき組織です。事故が起きないから要らないとか、そういう次元の話ではない。うまく言葉にできないですけど、“なきやいけない組織”だと思うんですよ。

国でも、経産省の「サイバーセキュリティ経営ガイドライン」に組織内へのCSIRT設置を推奨することを明記していますし、サプライチェーン強化に向けたセキュリティ対策として体制を作るのも大切です。2025年7月に国家サイバー統括室(National Cybersecurity Office)が設置され、国家全体のサイバーセキュリティ体制の強化が期待されています。

杉浦 企業はCSIRTという組織になかなかお金をかけられません。いくら兼務だとしても組織に何人かいないと回せませんので、コストがかかり、会社の状況によって削られてしまうこともあります。今、NCAには600チーム以上が加盟していますが、中には形だけ作って終わっているところもあるのではないかなと思うんですね。ちゃんとお金をかけなければいけないということを、もう少し認識していただかないといけないと思っています。今、多くの組織は「守る」ことにはお金をかけるように意識を向けてきている気がします。では、インシデント対応はどうかというと「守っているから、そんなもの起きない」となってしまふところもあると思います。



“企業が強くなると、日本の国のサイバー攻撃に対する耐久力は強くなると思う”

### 国のサイバー耐久力強化、まず企業から

— 企業にとってNCAに加わることのメリットはなんですか。

杉浦 いろいろな側面があると思いますが、我々は“場を提供する”と言っているんですね。実際に来ていただいて、学んでいただく。NCAが提供するトレーニングに参加していただくというのがありますけど、いろんな考え方を持つ人、いろんな企業の人たちとのワークショップに集まって、話をし、夜は飲み会に。そこでも意外と、趣味の話ではなく、仕事の話で盛り上がるのがあって。そういうかたちで、来て、学んでいただくことがメインとして一つあると思います。あとは、互助的な側面ですね。たとえば、課題を抱える人がいたとして、その課題をほかの会員に話すことで共感し、集まって「何か出来ることはないか」と始まったりするんですね。そういうところも売りです。

— 最後にありますが、CSIRT推進に向けて読者の皆様一言ずつどうぞ。

小川 私は杉浦さんにお会いして、サイバーセキュリティについているんことを教えてもらっています。杉浦さんのマインドを継承しているところがありますが、日本という国がセキュリティに強くなるのが第一だと思っています。それには、やっぱり各企業がセキュリティ意識を高め、対応できるようにしていきたい。企業が強くなると、日本の国のサイバー攻撃に対する耐久力は強くなると思うので、私はそこを目指していきたいと思っています。NCAでも、うちの会社が引っ張っていけるようになれるといいと思っています。

杉浦 CSIRTやサイバーセキュリティをどうしたらいいかわからないという状態であれば、ぜひNCAに来ていただきたいですね。それぞれ皆ちがう組織なので、答えは出せないと思いますが、なんらかの糸口をつかめる環境はあると思います。小さな企業でしたら非常に安価な金額で会員になれるようにしています。ぜひ来ていただいて、CSIRTやセキュリティ体制の構築の“場”として活かしていただきたいところです。

# Secure Workplace

## Secure Workplace とは？

「時間や場所にとらわれずに働ける柔軟なワークスタイル」と「強固なセキュリティ対策」を両立させた働く環境を提供し、企業の生産性向上とレジデンス経営を実現するDTSのソリューションです。

Service01

### DXセキュリティ導入・運用監視支援サービス

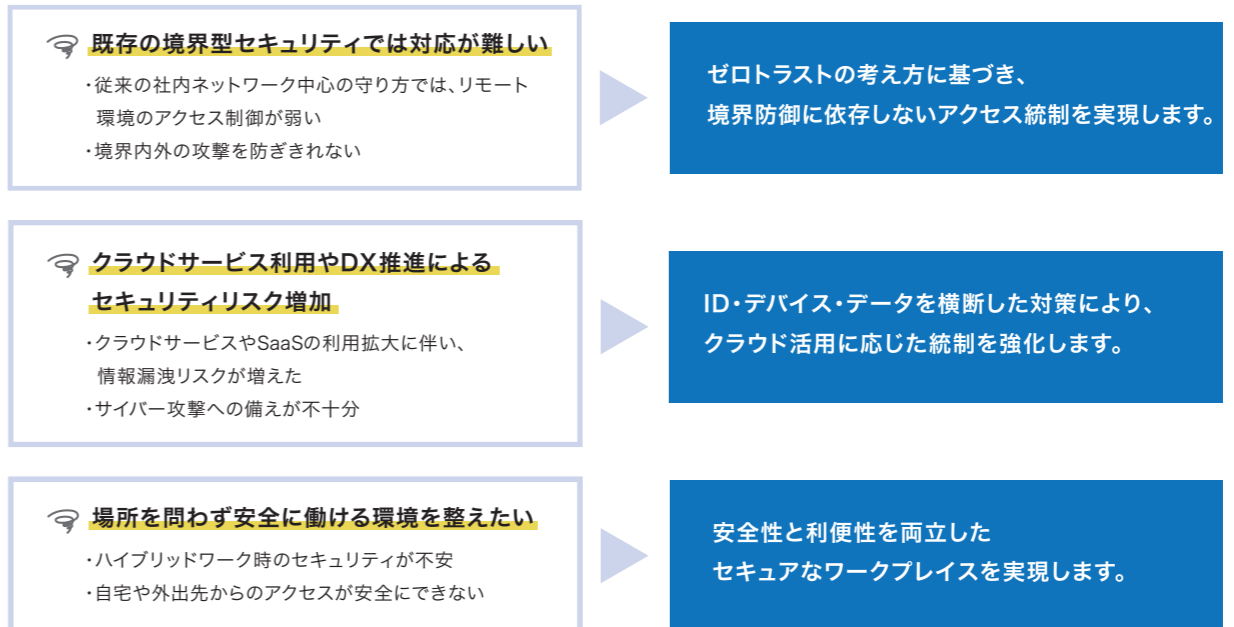
組織の状況に応じたセキュリティ対策の提案(アセスメント/コンサルティング)から、実際の導入、さらに運用・監視までを一気通貫でサポート。ゼロトラスト・セキュリティを中心に、複数の最新セキュリティ技術を組み合わせる「ベスト・オブ・ブリード(Best-of-breed)」型アプローチ。

Service02

### DXワークプレイス導入支援サービス

リモートワークやクラウド活用を前提に、デバイス管理、仮想デスクトップ環境(VDI/DaaS)、コミュニケーションツール、クラウドストレージなどの、業務に必要なITインフラや働く環境の整備を支援。

## こんなお困りごとがあれば Secure Workplace をご検討ください。



お問い合わせ： デジタルソリューション事業本部

SecureWorkplace





特集2  
特別企画

# 阪神タイガースWomen DTS野球部 合同練習

## 阪神タイガース Women とともに刻む、本気の姿。

阪神タイガースWomenとDTS野球部と2回目のコラボ企画を開催しました。

阪神タイガースWomenは硬式、DTS野球部は軟式という違いはありますが、怪我に配慮しながら、互いに一生懸命合同練習に取り組む姿が見られました。練習では、木戸克彦監督によるご指導があり、DTS野球部の選手たちも全力で球を追いかける”本気の姿”や”真剣な表情”が見られ、阪神タイガースWomenとDTS野球部お互いに良い刺激を与え合う合同練習となりました。

互いの頑張りに刺激を受け、次への挑戦に向けた気持ちが強くなりました。



快晴の空の下、合同練習を実施しました。当日は、アメリカンノックをはじめ、木戸監督による内野ノック、ロングティー（バッティング：DTS野球部、トス：阪神タイガースWomen）、球当てノックと、充実したメニューに取り組みました。練習の間には罰ゲームも盛り込まれ、終始笑顔が入り混じりながらも、一球一球に真剣に向き合う姿が印象的な、活気あふれる時間となりました。



加えて、DTS野球部と阪神タイガースWomenの選手同士が積極的にコミュニケーションを取り合い、和やかな雰囲気の中で交流を深めていました。今回の合同練習で得た経験や刺激を糧に、来季はそれぞれの舞台でさらなる成長と飛躍を目指していきます。

【合同練習の様子はこちらから！】

DTS野球部公式サイト内「ギャラリー」より、  
野球部の活動を写真や動画でご覧いただけます→





70  
きど かつひこ  
**木戸 克彦 監督**

投/打:右/右  
身長:178cm  
出身地:大阪  
生年月日:1961年2月1日  
球歴:PL学園高・法政大  
阪神タイガース

**Q1. 野球をはじめたきっかけは?**

父親のススメで堺リトルリーグに小学2年生で入団

**Q2. パン派?ごはん派?それ以外?**

お酒派

**Q3. プライベートで今、一番興味のあることは?**

(何をしているのが一番楽しい?休日の過ごし方?)  
仕事・会食が忙しく中々行けていないがゴルフ

**Q4. パワーチャージやストレス解消の方法は?**

辛抱

**Q5. プライベートで挑戦してみたいことは?**

新たなクラブチームを作ってみたい

**Q6. 自己研鑽として普段どのようなことを心がけていますか?**

今の仕事をまずやること(男子・Women問わず)

**Q7. 阪神タイガースWomenがさらに進化するために改良したい点はあるか?(ITでできることならなお可)**

関西をはじめ全国に強豪(ライバル)ができることと、侍(日本代表)に阪神タイガースWomenから選手がどんどん選ばれること

**Q8. 来シーズンへの意気込み**

読売ジャイアンツ女子チームに勝つ!そして若いチームらしく勢いをつけて優勝を目指す

**Q9. DTSに一言**

いつもタイガースWomenにご支援いただきありがとうございます。  
チーム設立から節目の5年を終え、メンバーも総替わりして新しいチームとして迎える1年となります。皆様に良い報告ができるように努めて参りますので、まだまだ若いチームですが温かく見守ってくださいますと幸いです。



39  
おおした せいいちろう  
**大下 誠一郎 コーチ**

投/打:右/右  
身長:171cm  
出身地:福岡  
生年月日:1997年11月3日  
球歴:白鷗大足利高・白鷗大  
オリックス・パファローズ  
千葉ロッテマリーンズ

**Q1. 野球をはじめたきっかけは?**

中田翔さんの高校一年生の甲子園を見て、真剣にはじめた

**Q2. パン派?ごはん派?それ以外?**

ごはん派

**Q3. プライベートで今、一番興味のあることは?**

(何をしているのが一番楽しい?休日の過ごし方?)  
ゴルフ

**Q4. パワーチャージやストレス解消の方法は?**

お酒

**Q5. プライベートで挑戦してみたいことは?**

釣り

**Q6. 自己研鑽として普段どのようなことを心がけていますか?**

早寝・早起き

**Q7. 阪神タイガースWomenがさらに進化するために改良したい点はあるか?(ITでできることならなお可)**

得点力

**Q8. 来シーズンへの意気込み**

日本一

**Q9. DTSに一言**

これからもご支援のほど、よろしく申し上げます。



**Tigers Women**



公式Instagram

【阪神タイガース Women】

**【阪神タイガースWomen】**

阪神タイガースが2021年シーズンに、セ・リーグ球団として初めて設立した女子硬式野球クラブチーム。  
女子がプレーをすることで、「女性ファンの裾野拡大」「競技者にとっての将来目標の創出」「女子が野球を始めやすい・続けやすい環境整備」を通じて、野球振興に取り組んでいます。  
現在は、日本一的女子野球チームになること、侍ジャパン(日本代表)選手を輩出すること、女子野球の認知及びコンテンツ価値の向上を目標に、活動しています。  
オフィシャルサイト:[https://hanshintigers.jp/data/hanshintigers\\_women/](https://hanshintigers.jp/data/hanshintigers_women/)

**DTS野球部 TOPICS**



**試合結果**

- ・1回戦:DTS 11 - 9 株式会社鮮ど市場
- ・2回戦:DTS 8 - 5 久留米メイウェザー
- ・準々決勝:DTS 6 - 1 天照
- ・準決勝:DTS 4 - 1 CP9
- ・決勝戦:DTS 4 - 2 青森愛球クラブ



今回DTS野球部は、予選となる「2025年度東京春季軟式野球大会」で優勝し、「高松宮賜杯第69回全日本軟式野球大会(2部)」への出場権を獲得しています。同大会には2025年度に各都道府県支部に予選大会で優勝し、ブロック代表となった32チームが出場し、決勝トーナメントが群馬県の6会場で開催されました。3日間で5試合という、非常にタイトで過酷な大会でもあり、選手たちは怪我やコンディションの厳しさを乗り越え、チーム一丸となって戦い抜きました。

2025年9月13日から15日に群馬県で開催された「高松宮賜杯第69回全日本軟式野球大会(2部)」にて、初出場ながら見事優勝を果たし、クラスにおいて日本一に輝きました。公益財団法人全日本軟式野球連盟(以下、全日本軟式野球連盟)が主催する「高松宮賜杯全日本軟式野球大会(1部・2部)」は、昭和32年に第1回が開催された2025年度の大会にて69回目の開催となります。国内で開催される軟式野球の全国大会としては、「天皇賜杯全日本軟式野球大会」に次ぐ権威ある大会です。

高松宮賜杯第69回全日本軟式野球大会(2部)で  
初出場・初優勝の快挙!

# 甲子園歴史館

プロ野球や高校野球の名勝負が刻まれてきた阪神甲子園球場。その歴史とドラマを体感できる甲子園歴史館を、DTS野球部が訪問しました。展示や映像を通じて野球の歩みに触れ、選手一人ひとりが新たな刺激と学びを得る貴重な機会となりました。



## <ボールウォール>

甲子園球場で行われる春・夏の高校野球大会に出場した、歴代出場校の名前が刻まれたボールが展示されています。全国から出場した学校名が一面に並ぶ様子から、長年に渡り多くの学校が甲子園の舞台に挑戦してきた歴史を感じます。DTS野球部のメンバーが、それぞれの母校の名前を探しながら展示を楽しむ様子も見られました。



あっ、母校みつけた!!

## <ヒーロー列伝>

展示物の一つ一つには丁寧な解説が添えられており、実際に試合を見たことがある人も、そうでない人も、当時の試合展開や選手の想いなどを想像しながら楽しめます。歴代のレジェンド選手たちが使用したユニフォーム、バット、グローブなどから当時の背景が伝わり、数々の名勝負が生まれたことが実感できます。DTS野球部のメンバーも展示前で立ち止まり、解説を読みながら丁寧に見学する様子が見られました。



## <体験! タッチスタジアム>

実際に選手たちが使用したバット、グローブ、スパイクが展示されており、手に取って重さや質感を確かめることができます。用具を通じて、プロ野球の世界をより身近に知ることができる展示です。DTS野球部のメンバーも実際に用具に触れながら、重さ確かめ、しばらくその場を離れず、時間をかけて見学していました。



## 【甲子園歴史館】

貴重な展示品や映像などを通して、高校野球、阪神タイガース、阪神甲子園球場100年の歴史が学べるミュージアムです。普段は入ることのできない球場の裏側をガイド付きで見学できる「スタジアムツアー」の開催や、まるで甲子園球場で野球をしているような体験ができるバーチャルバッティングセンターも併設しています。

料金：大人900円、高校生700円、こども（4歳～中学生）500円  
 ※スタジアムツアー、バーチャルバッティングセンターは別料金  
 営業時間：10:00～18:00（11月～2月は10:00～17:00）  
 休館日：月曜日（試合開催日、祝日を除く）、年末年始、その他不定休あり  
 HP：<https://koshien-rekishikan.hanshin.co.jp/>



# DTS野球部 選手紹介



**野球部部長**  
**神田 誠**  
 KODAMA MAKOTO  
 1969年9月12日生  
 山口県出身



**監督 30**  
**増田 尚行**  
 MASUDA NAOYUKI  
 1972年7月21日生  
 埼玉県出身



**コーチ 34**  
**奈良 弘将**  
 NARA HIROMASA  
 1975年9月24日生  
 東京都出身

- ①投打 ②身長体重
- ③入社年
- ④生年月日
- ⑤出身地
- ⑥出身高校
- ⑦出身大学



**投手**  
**岩崎 純司**  
 IWASAKI JUNJI  
 ①右/右 ②176cm 81kg  
 ③2020年  
 ④1997年8月29日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥藤沢翔陵高等学校  
 ⑦神奈川工科大学



**投手**  
**武内 寛斗**  
 TAKEUCHI HIROTO  
 ①右/右 ②176cm 78kg  
 ③2024年  
 ④2001年7月7日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥八王子高等学校  
 ⑦上武大学



**投手**  
**関 悠平**  
 SEKI YUHEI  
 ①左/左 ②185cm 69kg  
 ③2016年  
 ④1993年7月12日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥日本大学第三高等学校  
 ⑦拓殖大学



**投手**  
**板垣 翔太**  
 ITAGAKI SHOTA  
 ①右/右 ②177cm 83kg  
 ③2025年  
 ④2002年6月23日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥東海大学付属札幌高等学校  
 ⑦神奈川工科大学



**投手**  
**落合 幸喜**  
 OCHIAI KOKI  
 ①右/右 ②180cm 85kg  
 ③2020年  
 ④1997年12月9日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥藤沢翔陵高等学校  
 ⑦神奈川工科大学



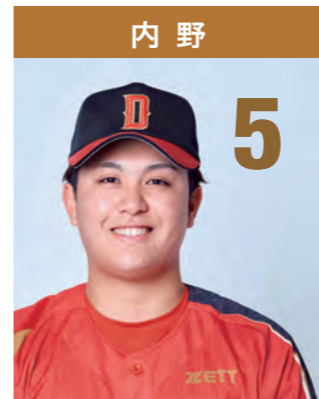
**投手**  
**高橋 裕汰**  
 TAKAHASHI YUTA  
 ①左/左 ②183cm 83kg  
 ③2022年  
 ④1999年10月30日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥八王子高等学校  
 ⑦上武大学



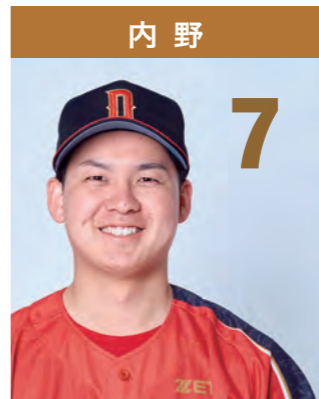
**捕手**  
**張 大地**  
 HARI DAICHI  
 ①右/右 ②178cm 80kg  
 ③2023年  
 ④2000年10月14日  
 ⑤徳島県  
 ⑥徳島城南高等学校  
 ⑦亜細亜大学



**内野**  
**高山 凌輔**  
 KOYAMA RYOSUKE  
 ①右/左 ②172cm 78kg  
 ③2019年  
 ④1996年6月18日  
 ⑤熊本県  
 ⑥九州学院高等学校  
 ⑦上武大学



**内野**  
**中村 洸星**  
 NAKAMURA KOSEI  
 ①右/左 ②168cm 75kg  
 ③2024年  
 ④2001年11月19日  
 ⑤東京都  
 ⑥東海大学菅生高等学校  
 ⑦神奈川工科大学



**内野**  
**谷岡 享玲**  
 TANIOKA KYOREI  
 ①右/左 ②172cm 76kg  
 ③2023年  
 ④2000年7月2日  
 ⑤高知県  
 ⑥高知高等学校  
 ⑦亜細亜大学



**内野**  
**小野寺 拓海**  
 ONODERA TAKUMI  
 ①右/右 ②183cm 95kg  
 ③2020年  
 ④1997年10月28日  
 ⑤静岡県  
 ⑥常葉大学付属橘高等学校  
 ⑦亜細亜大学



**内野**  
**本橋 海斗**  
 MOTOHASHI KAITO  
 ①右/左 ②170cm 75kg  
 ③2016年  
 ④1993年11月16日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥飛龍高等学校  
 ⑦神奈川工科大学



**内野**  
**小田村 涼**  
 ODAMURA RYO  
 ①右/左 ②174cm 76kg  
 ③2025年  
 ④2002年5月26日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥東海大学菅生高等学校  
 ⑦神奈川工科大学



**外野**  
**石橋 勇汰**  
 ISHIBASHI YUTA  
 ①右/右 ②175cm 82kg  
 ③2018年  
 ④1995年7月11日  
 ⑤福岡県  
 ⑥福岡第一高等学校  
 ⑦日本経済大学



**外野**  
**伊藤 寛太**  
 ITO KANTA  
 ①右/左 ②181cm 76kg  
 ③2021年  
 ④1998年8月11日  
 ⑤愛知県  
 ⑥静清高等学校  
 ⑦亜細亜大学



**外野**  
**磯部 隼人**  
 ISOBE HAYATO  
 ①右/左 ②181cm 71kg  
 ③2026年  
 ④2003年4月1日  
 ⑤神奈川県  
 ⑥神奈川県立平塚湘風高等学校  
 ⑦神奈川工科大学

【DTS野球部公式サイト】

最新情報はこちらをチェック→  
 HP:<https://www.dts.co.jp/sports/>



# DTS野球部 2025年シーズン 試合日程・結果

## 東京都春季軟式野球大会 **結果:優勝**

4月5日(土)、19日(土)  
場所:板橋区戸田橋グラウンド(4/5)、駒沢オリンピック公園総合運動場 硬式野球場(4/19)

## 中央区軟式野球連盟 春季大会 1部リーグ

5月11日(日)~7月6日(日)  
場所:月島運動場 **結果:3位**

## 東京都夏季軟式野球大会

6月7日(土)~7月21日(祝・月)  
場所:未定 **結果:優勝**

## MLB ドリームカップ

7月27日(日)~8月24日(日)  
場所:明治神宮外苑 **結果:大会途中、日程の都合で辞退**

## 東京都秋季軟式野球大会

8月23日(土)~10月18日(土)  
場所:未定 **結果:中央区軟式野球連盟秋季大会等と日程が重なるため辞退**

## 高松宮賜杯第 69 回全日本軟式野球大会 (2部)

9月13日(土)~15日(祝・月)  
場所:群馬県 **結果:優勝**

## 中央区軟式野球連盟 秋季大会

10月19日(日)~11月30日(日)  
場所:月島運動場 **結果:準決勝で敗戦**

## 関東選抜軟式野球大会 (2部) ミズノトーナメント

10月25日(土)~26日(日)  
場所:東京都 **結果:準決勝で勝利 ※決勝は雨天中止**

# メッセージ

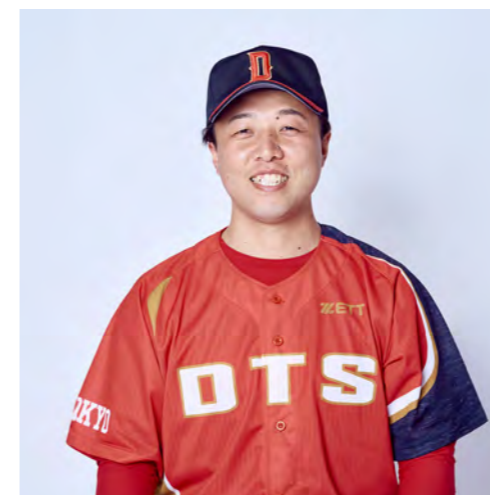
## DTS野球部 部長 神田 誠



2025年度において、DTS野球部は「挑戦」を胸に、数多くの大会に臨んでまいりました。その結果、東京都春季・夏季軟式野球大会(Cクラス)での春夏連覇、そして東京都代表として出場した高松宮賜杯(2部)での優勝という、部の歴史に残る成果を収めることができました。選手一人ひとりが日々の練習と試合に真摯に向き合い、最後まで諦めない姿勢を貫いた結果であり、チームとしても大きな自信になりました。また、関東選抜野球大会でも決勝進出を果たし、決勝は雨天中止という形にはなりましたが、チームの実力と成長を十分に示す大会となりました。中央区1部の大会においても、春季3位、秋季では準決勝進出と、強豪ひしめく中で安定した戦いを見せてくれました。これらの成果は、選手・スタッフの努力はもちろんのこと、日頃からご理解とご支援をいただいている選手および会社関係者の皆様、そして応援してくださる多くの方々のお力添えがあってこそ成し得たものです。この場をお借りして、心より感謝申し上げます。来年は、今年築き上げた土台をさらに強固なものとし、継続的に結果を残せるチームを目指してまいります。引き続きDTS野球部への温かいご声援を、どうぞよろしくお願い申し上げます。

## DTS野球部 監督 増田 尚行

本年度もDTS野球部の活動に多大なるご支援を賜り、誠にありがとうございました。今シーズンは、中央区大会・東京都大会・高松宮賜杯と、年間を通して多くの公式戦に出場し、大きな成果を挙げることができました。特に、高松宮賜杯での全国優勝は、選手全員が最後まで諦めず挑戦し続けた結果であり、部の歴史においても大きな節目となりました。また、この成果は単なるスポーツ活動としての勝利にとどまらず、DTSが掲げる「挑戦し続ける姿勢」や「チームで価値を生み出す」という理念を野球部として体現できたシーズンでもあったと考えています。また来シーズンは、今シーズンの結果に満足することなく、「挑戦」と「変革」をキーワードに、さらなるレベルアップを図ってまいります。野球部としても、スポーツを通じた健康促進や社員間交流の活性化はもちろん、社内外に「挑戦するDTS」の姿を示していくよう、誠心誠意活動をしていく所存です。来シーズンも引き続き、ご指導・ご声援のほどよろしくお願い申し上げます。



## DTS野球部 キャプテン 小野寺 拓海

日頃より野球部へのご声援とご支援を賜り、誠にありがとうございます。今シーズンは全国大会・東京都大会への出場と、当部にとってまさに「挑戦」の年となりました。特に初出場となった高松宮賜杯では全国優勝を成し遂げ、来シーズン以降へ繋がる充実したシーズンを過ごせたと感じております。ただ、最終目標からするとまだまだ通過点に過ぎません。更なる「挑戦」に向けて選手一同これまで以上に努力を重ねてまいります。また、ご都合あえば是非一度球場に足を運んでいただき、私たちのプレーを実際に見ていただけると嬉しいです。皆様のご声援を球場で心待ちにしております。来シーズンも引き続き野球部へのご支援・ご指導をよろしくお願い申し上げます。

# 2026 阪神甲子園球場 開催予定試合日程表

## SEASON SCHEDULE (3月13日 時点)

DTSボックスへのご招待をご希望のお客様は、DTS関係者までお問い合わせください。

### 4月

日	月	火	水	木	金	土
3/15	16	17	18	19 選抜	20	21
22	23	24	25	26	27	28
29	30	31 選抜	4/1	2	3	4
5	6	7 18:00 ヤクルト	8 18:00 ヤクルト	9 18:00 ヤクルト	10	11
12	13	14 18:00 巨人	15 18:00 巨人	16 18:00 巨人	17 18:00 中日	18 (14:00) 中日
19 (14:00) 中日	20	21	22	23	24	25 (14:00) 広島
26 (14:00) 広島	27	28	29	30		

選抜: 第98回選抜高等学校野球大会

### 5月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	7 18:00 巨人	8 (14:00) 巨人
3 (14:00) 巨人	4	5	6	7	8 18:00 DeNA	9 (14:00) DeNA
10 (14:00) DeNA	11	12	13	14	15 18:00 広島	16 (14:00) 広島
17 (14:00) 広島	18	19	20 18:00 中日	21 18:00 中日	22	23
24	25	26 18:00 日本ハム	27 18:00 日本ハム	28 18:00 日本ハム	29	30
31						

### 6月

日	月	火	水	木	金	土
31	1	2 18:00 西武	3 18:00 西武	4 18:00 西武	5 18:00 楽天	6 (14:00) 楽天
7 (14:00) 楽天	8	9	10	11	12	13
14	15	16	17	18	19	20
21	22	23 18:00 ヤクルト	24 18:00 ヤクルト	25 18:00 ヤクルト	26	27
28	29	30 18:00 中日				

### 7月

日	月	火	水	木	金	土
28	29	30	1 18:00 中日	2 18:00 中日	3 18:00 広島	4 18:00 広島
5 18:00 広島	6	7	8	9	10 18:00 ヤクルト	11 18:00 ヤクルト
12 18:00 ヤクルト	13	14	15	16	17	18
19	20 18:00 DeNA	21 18:00 DeNA	22 18:00 DeNA	23	24 18:00 巨人	25 18:00 巨人
26 18:00 巨人	27	28	29	30	31	1

### 8月

日	月	火	水	木	金	土
26	27	28	29	30	31	1
2	3	4	5	6	7	8
9	10	11	12	13	14	15
16	17	18	19	20	21	22
23	24	25	26	27	28 18:00 巨人	29 18:00 巨人
30 18:00 巨人	31					

### 9月

日	月	火	水	木	金	土
30	31	1	2	3	4	5 18:00 DeNA
6 18:00 DeNA	7	8 18:00 広島	9 18:00 広島	10 18:00 広島	11	12
13 18:00 中日	14	15	16	17	18 18:00 広島	19 18:00 広島
20 18:00 DeNA	21 (14:00) DeNA	22	23	24	25	26
27	28	29	30	1	2	3